

# 令和3年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和3年1月8日

上場会社名 株式会社ブロッコリー

上場取引所 東

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

四半期報告書提出予定日 令和3年1月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年2月期第3四半期の業績(令和2年3月1日～令和2年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第3四半期	4,389	△1.0	832	34.6	855	35.3	590	25.5
2年2月期第3四半期	4,435	△2.1	618	1.5	632	1.0	470	11.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第3四半期	67.52	—
2年2月期第3四半期	53.79	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年2月期第3四半期	11,443	9,817	85.8
2年2月期	10,737	9,453	88.0

(参考)自己資本 3年2月期第3四半期 9,817百万円 2年2月期 9,453百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
3年2月期	—	0.00	—		
3年2月期(予想)				26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和3年2月期(予想)の配当性向は37.9%となります。

## 3. 令和3年2月期の業績予想(令和2年3月1日～令和3年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	12.7	900	32.2	930	32.2	600	58.6	68.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年2月期3Q	8,747,642 株	2年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	3年2月期3Q	372 株	2年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年2月期3Q	8,747,270 株	2年2月期3Q	8,747,270 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。
- 3.当社は、令和元年8月30日に株式会社LANTERN ROOMSの株式を100%取得したことに伴い、同社を子会社化しておりますが、資産、売上高、損益、利益剰余金に及ぼす影響が僅少であり、現時点では重要性が乏しいため、非連結子会社としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界では、国内外のスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場のゆるやかな拡大を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場が世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれておりますが、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞し、一部では持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第3四半期累計期間（自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日）における当社の経営成績概況は、以下のとおりであります。

「うたの☆プリンスさまっ♪」におきましては、10周年を記念したスペシャルコンセプトショップ「All-Star Shop」を7月から9月まで開催。入場制限や体温測定等の感染予防・拡散防止を講じながら安全運営を心がけてまいりました結果、関連グッズの当第3四半期累計期間の売上高は前年をやや下回りましたが、高価格帯商品の人気も高く、売上総利益は前年並みに確保出来ました。

関連ゲームアプリ「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」におきましても、当第3四半期累計期間の売上高・売上総利益は前年並みを確保いたしました。

関連ゲームでは、5月に「うたの☆プリンスさまっ♪ Amazing Aria & Sweet Serenade LOVE for Nintendo Switch」を発売。当第3四半期累計期間においても見込みを上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

関連CDでは、4月に「うたの☆プリンスさまっ♪『Another World～WHITE&BLACK～』」のテーマソングを、8月にHE★VENS初の本格ドラマCDを発売。9月には、10周年を彩る3グループの新曲を収録した超豪華シングルを発売し、当第3四半期累計期間におきましては、劇場版関連CDを発売した前年には至りませんでした。見込みを大きく上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

なお、前年公開の「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム」（制作委員会運営）の収益配分は、上半期に大方の配分が為されており、当第3四半期には大きな収益はありません。

他社ライセンスグッズは、感染対策に伴い他社開催のリアルイベント等が延期や中止になった時期ではありましたがオンラインライブの他社通販向けのグッズ卸売が、当第3四半期も前年を大きく上回り好調に推移し、当第3四半期累計期間におきまして、前年を上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

トレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス）」（以下、「Z/X（ゼクス）」）は、上半期から引き続きオンラインイベント開催や関連商品の通販強化を行ったことに加え、当第3四半期に新規ユーザーだけでなく、復帰ユーザーの要望にも応えるカードパック EXパック 第23弾「ゼクメモ！」等を発売した結果、当第3四半期累計期間におきまして、前年並みの売上高・売上総利益を確保いたしました。

また、販促費などの圧縮等により、販売費及び一般管理費は997百万円（前年同期比15.8%減）と抑制することができました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,389百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益832百万円（同34.6%増）、経常利益855百万円（同35.3%増）、四半期純利益590百万円（同25.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は8,712百万円で、前事業年度末に比べ483百万円増加しております。主な内容は、現金及び預金の増加146百万円、商品及び製品の増加284百万円、仕掛品の増加150百万円、映像コンテンツの増加9百万円、その他の増加151百万円などの増加要因に対し、売掛金の減少261百万円などの減少要因であります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は2,731百万円で、前事業年度末に比べ222百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加240百万円などの増加要因に対し、有形固定資産の減少10百万円、投資そ

の他の資産の減少7百万円であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,528百万円で、前事業年度末に比べ330百万円増加しております。主な内容は、未払法人税等の増加25百万円、賞与引当金の増加31百万円、返品調整引当金の増加4百万円、その他の増加319百万円などの増加要因に対し、買掛金の減少31百万円、役員賞与引当金の減少19百万円などの減少要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は98百万円で、前事業年度末に比べ11百万円増加しております。主な内容は、退職給付引当金の増加13百万円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は9,817百万円で、前事業年度末に比べ364百万円増加しております。これは、四半期純利益590百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において令和3年2月期通期業績予想及び配当予定の変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手しているゲームソフトや各イベント等の延期及び中止情報を業績予想に織り込んで算出しておりますが、目下、コロナ感染拡大の中、開催中のイベントにおきましては、感染防止のための開催自粛要請の有無や集客の変動等、不透明な点があります。また、感染拡大に係り世界的に輸送用コンテナの滞留が継続しており、当年度内に販売を予定するグッズの納品遅延懸念もあります。

今後、各影響が明確になった時点で業績にも織り込みながら、状況によりましては通期業績予想の変更を適時発表することを検討しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当第3四半期会計期間 (令和2年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,883,807	7,029,817
売掛金	736,805	475,213
商品及び製品	156,626	441,282
仕掛品	310,185	460,544
原材料及び貯蔵品	2,748	4,259
映像コンテンツ	20,000	29,360
その他	121,828	273,595
貸倒引当金	△2,983	△1,863
流動資産合計	8,229,017	8,712,209
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,219,453	1,220,963
減価償却累計額	△262,315	△296,871
建物(純額)	957,138	924,091
土地	907,414	907,414
その他	137,952	175,005
減価償却累計額	△100,614	△114,882
その他(純額)	37,338	60,122
有形固定資産合計	1,901,891	1,891,629
無形固定資産	273,509	513,767
投資その他の資産		
その他	340,751	333,450
貸倒引当金	△7,546	△7,546
投資その他の資産合計	333,204	325,904
固定資産合計	2,508,605	2,731,301
資産合計	10,737,623	11,443,510
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	321,651	289,885
未払法人税等	139,807	165,143
返品調整引当金	78,073	82,433
賞与引当金	70,906	102,280
役員賞与引当金	19,000	—
その他	568,347	888,277
流動負債合計	1,197,786	1,528,019
固定負債		
退職給付引当金	23,618	37,177
役員退職慰労引当金	8,616	8,146
その他	54,465	52,959
固定負債合計	86,700	98,283
負債合計	1,284,487	1,626,303

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当第3四半期会計期間 (令和2年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	5,024,586	5,387,782
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,451,707	9,814,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,428	2,303
評価・換算差額等合計	1,428	2,303
純資産合計	9,453,136	9,817,207
負債純資産合計	10,737,623	11,443,510

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年11月30日)
売上高	4,435,750	4,389,530
売上原価	2,631,667	2,559,360
売上総利益	1,804,083	1,830,170
販売費及び一般管理費	1,185,465	997,660
営業利益	618,618	832,509
営業外収益		
受取利息及び配当金	191	742
不動産賃貸料	56,814	56,492
その他	1,292	2,426
営業外収益合計	58,298	59,661
営業外費用		
支払利息	229	107
不動産賃貸費用	44,239	36,231
その他	47	—
営業外費用合計	44,516	36,339
経常利益	632,400	855,832
特別利益		
保険解約返戻金	52,002	—
特別利益合計	52,002	—
特別損失		
固定資産除却損	49	—
リース解約損	192	—
特別損失合計	241	—
税引前四半期純利益	684,161	855,832
法人税等	213,606	265,206
四半期純利益	470,554	590,625

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。